

(平成19年度予算額 615億円)
 平成20年度要求額 1,160億円

1. 国公私立大学を通じた大学教育改革の支援の充実

(1) 人材養成目的の明確化を踏まえた高等教育の質の向上

質の高い大学教育推進プログラム(仮称) 要求額 1.73億円(新規)
 各大学のポリシーの明確化とPDCAサイクルの確立など組織的運用による教育の質向上に向けた様々な取組を支援
 (特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)と現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)を発展的に統合)

(2) 社会的ニーズに対応する人材養成と大学の多様な機能の展開 要求額 8.5億円(3.8億円)

社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム 5.4億円(1.8億円)
 各大学等における教育研究資源を活用し、社会人の学び直しニーズに対応した教育プログラムを展開する優れた取組を支援

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム 3.1億円(1.6億円)
 新たな社会的ニーズに対応した優れた学生支援の取組を支援

(3) 世界に開かれた大学づくりの推進

大学教育の国際化加速プログラム 要求額 6.6億円(1.8億円)
 長期海外留学支援、海外先進教育研究実践支援、国際共同・連携支援(新規)等

(4) 社会の要請に応える高度専門職業人養成の充実

専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム 要求額 2.3億円(1.3億円)
 教職大学院などの専門職大学院等における教育方法等の充実に資する取組を支援

2. 世界最高水準の卓越した教育研究拠点形成と大学院教育の抜本的強化

グローバルCOEプログラム 要求額 47.0億円(15.8億円)
 「21世紀COEプログラム」の成果を踏まえ、世界的な卓越した教育研究拠点形成をより重点的に支援

大学院教育改革支援プログラム 要求額 8.6億円(3.5億円)
 社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材養成のため、大学院における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援

21世紀COEプログラム 要求額 4.6億円(2.20億円)
 世界的な研究教育拠点形成を支援(新規公募なし)

3. 地域の教育研究資源の結集による知の拠点としての機能強化

戦略的大学連携支援事業 5.0億円(新規)
 国公私複数の大学による多様で特色ある大学間の戦略的な連携の取組を支援

4. 大学病院と地域医療機関が連携した医師等の養成システムの再構築

地域連携型高度医療人養成推進事業 要求額 10.0億円(新規)
 大学病院と地域医療機関等とが緊密に連携して医師のキャリア養成を行う循環型の医療人養成システムの構築等を支援

がんプロフェッショナル養成プラン 要求額 2.8億円(1.4億円)
 がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師等、がんに特化した医療人養成の取組を支援

社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム 要求額 9億円(1.3億円)
 社会のニーズに適切に対応できる質の高い医療人養成の取組を支援

5. 産学連携による高度人材育成と教育プログラムの充実・強化

産学連携による実践型人材育成事業 要求額 9億円(5億円)
 実践型人材の育成を目指し、大学等において、産学連携による新たな教育プログラムの開発を実施

先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム 要求額 9億円(8億円)
 世界最高水準のIT人材として求められる専門的スキルを有し、企業等において先導的役割を担う人材の育成拠点形成を支援

主な事業(プログラム)のみ記載しているため、合計額は一致しない。なお、前年度予算の合計には特色GP・現代GPの合計額(8.2億円)と「魅力ある大学院教育」イニシアティブ(1.2億円)を加算。

世界最高水準の卓越した教育研究拠点形成と大学院教育の抜本的強化

平成20年度要求額 60,189百万円
(平成19年度予算額 42,504百万円)

「新時代の大学院教育」(平成17年9月5日中央教育審議会答申)

大学院を取り巻く社会状況

大学院への進学率の上昇
知識基盤社会が到来する中、大学院の重要性が増大
真の科学技術創造立国の実現に向けた人材養成が必要

高度な人材の養成の中核を担う機関として、
**国際的に魅力ある大学院づくりが
国家社会を左右する重要な課題**

大学院教育振興施策要綱(平成18年3月30日)

国際競争力のある卓越した 教育研究拠点の形成

世界最高水準の卓越した教育研究拠点形成のための重点的支援

グローバルCOEプログラム 要求額 46,958百万円(15,758)

「21世紀COEプログラム」の成果を踏まえ、国際的に卓越した教育研究拠点形成をより重点的に支援。

特に若手研究者の育成機能と国際的な拠点形成を強化

<19年度採択実績>

・採択分野: [生命科学]、[化学・材料科学]、[情報・電気・電子]、[人文科学]、[学際・複合・新領域]の5分野

・採択件数: 63件(28大学)[申請件数: 281件(111大学)]

<20年度公募予定>

・公募分野: [医学系]、[数学・物理学・地球科学]、[機械・土木・建築・その他工学]、[社会科学]、[学際・複合・新領域]の5分野

・採択予定件数: 60件程度

大学院教育の実質化(組織的展開の強化)

課程制大学院の趣旨に沿った教育の課程と研究指導の確立

大学院教育改革支援プログラム 要求額 8,597百万円(3,501)

大学院教育を抜本的に強化し、産業界をはじめ社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を養成するため、大学院(博士課程・修士課程)における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援。

公募分野: 全分野

19年度: 126件(61大学)採択(申請355件[154大学])

20年度も全分野150件程度を新規公募

【経済財政改革の基本方針2007】

世界トップレベルを目指す大学院教育の改革

・平成20年度から、世界最高水準の大学院形成、優れた大学院生への経済的支援を充実する。

【教育再生会議 - 第二次報告 - 】

世界トップレベルの教育水準を目指す大学院教育の改革

・大学院教育制度の改革 ・世界トップレベルの大学院形成 ・学生に対する経済的支援

グローバルCOEプログラム

～世界的な卓越した教育研究拠点の形成～

平成20年度概算要求額 470億円
(平成19年度予算額 158億円)

趣旨・概要

「21世紀COEプログラム」の成果(大学改革・教育・研究)を踏まえ、

これまでの基本的な考え方を継承しつつ、さらに支援を充実し、飛躍的な発展を目指す

中教審答申(「我が国の高等教育の将来像」(平成17年1月)、「新時代の大学院教育」(平成17年9月))を踏まえた大学改革を推進
国際的に卓越した教育研究拠点をより重点的に支援

・274拠点(21COE拠点数) 150拠点程度(国内外の大学等と連携した拠点形成も可)

・支援規模: 5千万～5億円/年、間接経費を30%措置

全分野で新たに公募(新たな学問的ニーズに対応するため、学際・複合・新領域については、毎年度公募)

博士課程学生に対する経済的支援や、若手研究者が自立して活躍できる機会を与えるなど、若手研究者がその能力を十分に発揮できるような環境整備を促進

日本学術振興会を中心に運営される「グローバルCOEプログラム委員会」(委員長:野依良治)において公平・公正な第三者審査・評価を実施。国際競争力を評価するための審査・評価体制の強化(外国人レフェリーによる審査を実施)

20年度概算要求

博士課程学生への経済的支援のさらなる拡充を図るため、1拠点当たりの支援をより重点化する。

世界的な卓越した教育研究拠点の形成を加速

【経済財政基本方針2007】

平成20年度から、世界最高水準の大学院形成、優れた大学院生への経済的支援を拡充する。

【採択分野】

()内採択拠点数

生命科学(28)
化学・材料科学(21)
情報・電気・電子(20)
人文科学(20)
医学系(35)
数学・物理学・地球科学(24)
機械・土木・建築・その他工学(23)
社会科学(26)

学際・複合・新領域
(14年度:24、15年度:25)

革新的な学術分野(28)

14年度 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24...

各分野毎に10～15拠点程度を採択

平成23年度まで学際・複合・新領域を毎年公募

274拠点(21COE採択拠点)

150拠点程度(グローバルCOE)

19年度採択実績

- ・採択分野:【生命科学】、【化学・材料科学】、【情報・電気・電子】、【人文科学】、【学際・複合・新領域】の5分野
- ・採択件数:63件(28大学) [申請件数:281件(111大学)]

20年度公募予定

- ・公募分野:【医学系】、【数学・物理学・地球科学】、【機械・土木・建築・その他工学】、【社会科学】、【学際・複合・新領域】の5分野
- ・採択予定件数:60件程度

大学院教育改革支援プログラム

～ 大学院教育の抜本的強化 ～

平成20年度概算要求額 86億円
(平成19年度予算額 35億円)

資源に乏しい我が国を、人材立国として発展させ、国際競争力を向上させるためには、
・科学技術の急速な発展による、知の専門化・細分化に対応できる、深い専門性
・新たな学問分野や急速な技術革新に対応できる、幅広い応用力
を持つ人材を養成することが必要不可欠。

また、これまでは自前で人材育成を行ってきた我が国の産業界からも、
高度な専門的知識と企画力をあわせもち、リーダーシップをとれる、即戦力となる人材が求められている。

大学院の人材養成
機能への期待が増大

一方、現状では、大学院の量的整備や制度の柔軟化は行われてきたものの、従来からの徒弟制度的教育が主流であり、産業界をはじめとする社会の幅広い分野で活躍する人材の養成機能が十分ではない。

教育の質の向上が不十分のままでの量的拡大では、十分な効果をあげられない。

「新時代の大学院教育」中教審答申を踏まえ、大学院教育振興施策要綱を策定(平成18年3月30日)

教育の組織的展開を強力に推進するため、制度改革(大学院設置基準の改正)を行うとともに、大学院(博士課程、修士課程)における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援する。

大学院設置基準の改正(平成19年4月施行)

- ・各大学院における人材養成目的等の教育研究上の目的の明確化・公表
- ・教育目的達成のための体系的な教育課程の編成
- ・各大学における組織的な教育活動の実施とそのため
の教員の研修・研究(FD)の実施
- ・成績評価基準等の明示

優れた取組への支援

対象: 博士課程、修士課程を置く専攻
公募の範囲: 全分野 19年度: 61大学126件採択(申請: 154大学355件)
20年度も全分野150件程度を新規公募

期間: 3年間
審査: 専門家、有識者による第三者評価委員会
審査の視点: 人材養成に関する取組計画の実現性(将来性)
各課程の目的に沿った体系的な教育課程の編成
教育研究活動の特色
教員による教育・研究指導方法

「21世紀COEプログラム」

- 世界的研究教育拠点の形成のための重点的支援 -

平成20年度概算要求額 46億円
(平成19年度予算額 220億円)

第三者評価による競争原理の導入により、国公立大学を通じ、優れた研究教育拠点に重点支援を行い、世界最高水準の大学づくりを推進する。

経緯：

- 大学の構造改革の方針(平成13年6月)
国立大学の再編・統合
国立大学の法人化
第三者評価による競争原理の導入
平成14年度より
「21世紀COEプログラム」の創設

実績：

・事業の概要

審査：省外の「21世紀COEプログラム委員会」が公平・公正な第三者評価を実施
対象：各大学の全学的な観点からの拠点形成計画
期間：5年間(中間評価、事後評価を実施)

・採択状況(：93大学274件)

| | | |
|------------|---|--------------------------------------|
| 14年度 公募 | 【生命科学】、【化学、材料化学】、【情報、電気、電子】、 【人文科学】、【学際、複合、新領域】 | (実績) ・申請163大学464件 ・採択 50大学113件 |
| 15年度 公募 | 【医学系】、【数学、物理学、地球科学】、【機械、土木、建築、 その他工学】、【社会科学】、【学際、複合、新領域】 | (実績) ・申請225大学611件 ・採択 56大学133件 |
| 16年度 公募 | 【革新的な学術分野】 | (実績) ・申請186大学320件 ・採択 24大学 28件 |

《期待される効果》

国公立大学を通じた競争的環境の醸成
世界トップレベルの大学と伍する教育研究活動
の活性化
我が国の研究水準の向上
学長を中心とした全学的観点からの大学づくり
など

↓
引続き積極的な推進

平成20年度の計画：

平成16年度研究教育拠点の着実な形成

(拠点形成の充実強化のため、間接経費を拡充)

平成15年度採択の研究教育拠点に対する事後評価の実施